

コンセプト

「大阪城・難波宮」周辺は、大阪のみならず日本の歴史の宝庫である。とりわけ大阪城は、皇居（江戸城）に匹敵する100ヘクタール超の敷地に、約100万個もの巨石を積み上げた美しい石垣が連なり、その中に壮麗な天守閣がそびえ立つ、他の観光都市にも比類のない大阪ならではの歴史・文化・そして絶景を持つ価値ある集客資源である。日本最古級の宮殿である「難波宮」と合わせて、自信と誇りを持って国内外の人々に訪問、見学、体験してもらう正式（フォーマル）な歓迎エリアとしてさらにブラッシュアップし、世界遺産への登録を目指したい。



整備イメージ

「全体」

大阪城と難波宮を一体とらえ、ユネスコの『世界遺産』に登録することを目指す。
大阪城の大手門からの眺めは絶景であり、その公共展望スペースを整備する。

「大阪城文化財活用ゾーン」

西の丸庭園、大阪城天守閣、旧市立博物館を活かして、昼夜人々が訪れて、感動する集客空間として整備する。具体的には、コンベンション会場、式典・祝祭利用、休息・レストラン等のアメニティー利用を可能とする。夜は、地域内を回遊できるよう照明を整備し、大阪ナイトコースの定番化を図る。
「文化財」...保護から活用へ



「難波宮ゾーン」

日本最古級の宮殿である「難波宮」を復元し、大阪のルーツ、日本の古代文化を感じる空間として整備する。



「大阪城公園にぎわいゾーン」

東の公園ゾーンは、現状のスポーツ・文化活動に加えて、多くの人々が集まるイベント空間とする。そのために、安心して快適な公園環境を整備するとともに、「城天」の機能を拡大し、様々な音楽・パフォーマンス等を可能とする環境を整える。



『感動集客特区』での具体策 (改革すべき規制・制度等)

全体

- | | |
|---|--|
| <p>具体策
世界遺産登録を目指す
(国、大阪府、大阪市、経済界への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難波宮と大阪城を一体で世界遺産に登録する。 ・ 実現に向けたキャンペーン等の開始。 <p>コンソーシアム(協議会)立上げ</p> | <p>具体策
大阪城(城郭全体)「展望スペース」の整備
(大阪府、大阪市への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画中の府庁新庁舎最上階に公共展望スペース、展望レストランを設置。 ・ 市立歴史博物館に無料展望スペース設置。 |
|---|--|

難波宮ゾーン

- 具体策
難波宮の復元(国・大阪市への要望)
- ・ 「難波宮」復元計画策定実施。
 - ・ 「平城遷都1300年」に併せた「古都イベント」を検討。

大阪城公園にぎわいゾーン

- 具体策
安心・安全な公園づくり(大阪市への要望)
- (1) 照明灯の増設・整備
 - (2) 野犬の駆除
 - (3) 青テント居住者の自立促進

大阪城文化財活用ゾーン

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>具体策
西の丸庭園の民間利用を制度化
(大阪市への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧迎賓館を改装し、西の丸庭園を国際会議セッション、結婚式場等に活用。 ・ そのために民間団体利用の料金、時間、許可基準等を公園条例に追加。 | <p>具体策
大阪城天守閣の観覧時間延長
(大阪市への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪城天守閣条例を緩和し、常時7時まで観覧可能に。さらににぎわいの増加とともに、順次観覧時間を延長。 | <p>具体策
大阪城公園内の営利施設設置許可
(国、大阪市への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内に飲食店や商業施設の設置が可能となるよう、文化財保護法の運用を緩和。 | <p>具体策
旧大阪市立博物館の活用
(大阪市への要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「旧大阪市立博物館」の内装を変更し、体験型茶室、レストラン、結婚式場等で有効活用。 |
|--|---|--|--|

- 具体策
「城天」の活性化
(大阪市、経済界への要望)
- ・ 若者のバンドだけでなく幅広い野外音楽を楽しめるよう公園を整備。
 - ・ コンテスト等の活性化方策実施を要望。